

# 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果をふまえた指導改善策

## 【中学校・義務教育学校後期課程】

### I 調査の概要

#### 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### 2 調査の対象

中学校第3学年・義務教育学校第9学年の生徒

#### 3 調査の内容

- (1) 教科に関する調査（国語、数学、理科）
- (2) 児童質問調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査）
- (3) 学校質問調査（学校における指導方法に関する取組みや学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問調査）

#### 4 調査日

令和7年4月17日（木）

### II 学力調査の結果

#### 1 教科に関する調査結果（平均正答率）

	国語	数学	理科
全国	54.3	48.3	50.3
広島県	55	47	49.5
府中市	52	42	47.8

※理科はIRTスコアで表記

## 2 調査の結果にみられる特徴（全国正答率を上回った特徴的な項目）

### 【国語】

#### 【思考・判断・表現】書くこと

読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる（市 34.1% 全国 30.1%）

### 【理科】

#### 【思考・判断・表現】地球

地域の言い伝えを科学的に探究する学習場面において、大地の変化と、地層の様子やその構成物に関する知識及び技能を関連付けて、地層の重なり方や広がり方を推定できるかどうかをみる（市 46.9% 全国 42.2%）

## 3 調査の結果にみられる課題及びその課題に対する改善策

### 【国語】

課題	課題に対する改善策
<p>【思考・判断・表現】書くこと</p> <p>読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる</p> <p>（市 47.0% 全国 57.3%）</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・文章を書いたり読んだりするだけでなく推敲の学習活動を取り入れ、読み手を意識したものになっているか考えさせる。</li><li>・漢字の持つ意味について理解させながら学ばせる。</li></ul>

**【数学】**

課題	課題に対する改善策
<b>【知識・技能】数と式</b> 素数の意味を理解しているかどうかをみる (市 18.1% 全国 31.8%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な数学的用語を学ぶ際にその意味を理解させるとともに、自分の言葉で考えを表現する活動を取り入れる。</li> <li>素数を利用して解決する課題を提示するなど、素数を用いることに必要性を感じさせる活動を取り入れる。</li> </ul>
<b>【思考・判断・表現】数と式</b> 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる (市 35.3% 全国 45.2%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じた式変形を考え、表現する活動を取り入れる。</li> <li>事柄が成り立つために必要な条件を考え、条件を満たす内容について検討する活動を取り入れる。</li> </ul>

**【理科】**

<b>【知識・技能】粒子、生命</b> 分解に関する身近な事象を問うことで、これまでに学習した理科の知識及び技能を基に、化学変化の分解の知識が概念として身に付いているかどうかをみる (市 38.1% 全国 51.6%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学変化を考える課題において、分解によってどのような変化が起きるかを様々な事例を取り入れながら、共通点や相違点を考えさせる。</li> </ul>
<b>【思考・判断・表現】粒子</b> ガス警報器の設置場所が異なる理由を考える学習場面において、実験の様子と、密度に関する知識および技能を関連付けて、それぞれの気体の密度の大小関係を分析して解釈できるかどうかをみる (市 38.1% 全国 50.4%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>密度の計算とともに日常生活の事象と密度との関係性を関連付けながら学習を進めることのできる授業を構成する。</li> </ul>

#### 4 生徒質問調査の結果にみられる特徴（全国平均値を上回った特徴的な項目）

自分には、よいところがあると思いますか (市 89.4% 全国 86.2%)
---

#### 5 生徒質問調査の結果にみられる課題及びその課題に対する改善のポイント

肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも 低かった項目	改善のポイント
1、2年生のときに受けた授業では、課題の 解決に向けて、自分で考え、自分から取り組ん でいましたか (市 62.0% 全国 77.7%)	<ul style="list-style-type: none"><li>・本質的な問いを意識して単元を構成する。</li><li>・ICT 機器の活用も含めて必然性のある課題を設定したり提示したりして、進んで学習できるようにする。</li></ul>